

## 20回変わらず大人気！1400人がカルデラ走る！



▼波野支所前をスタートした50kmの部の選手の様子



今年で第20回目の開催となった阿蘇カルデラスーパーマラソン大会が6月6日行われ、50kmの部、100kmの部に全国から約1400人のランナーが挑みました。100kmの部は南阿蘇村をスタートし内牧の総合センターをゴールとした高低差900mのコース。国内でもトップレベルのハードなコースですが、「雄大な景観とおいしい空気が最高！」と毎回定員を超える応募があります。本市からもなんと24人が走り頑張りました。

限界に挑む選手たちの姿、また、沿道から選手を励ます市民の姿、荷物係りなど波野中学校、阿蘇高校の生徒によるボランティアの姿、全てが感動の一日でした。

## 総会で慈恵病院医師が「命への思い」講演

5つの女性団体からなる阿蘇市女性団体連絡協議会（神保京子会長）の総会が6月28日、阿蘇青少年交流の家であり、開催に併せ記念講演が行われました。講師は「赤ちゃんポスト」「こうのとりのゆりかご」をつくられた熊本市の慈恵病院・蓮田太二理事長と田尻由貴子看護部長で、「命への思い」と題して話され参加者に「子どもを手放すことを未然に防ぐことが大事」と訴えられました。参加者からは「青少年育成が大事。早いうちに命の大切さ学ばせたい」と感想が聞かれました。



▲蓮田太二理事長の話に聞き入る180人の参加者



内牧支所に飾ってくれた内牧保育園の皆さん



ASO田園空間博物館に飾ってくれた黒川保育園の皆さん

夏の風物「七夕飾り」を楽しんでください！

## ボランティアありがとうございました。



熊本県建築労働組合阿蘇支部（山口純作支部長）の方々10人が地域貢献活動として波野・坂梨・宮地・黒川保育園で修繕作業をされました。「不況の世の中をボランティアをして明るくしたい」とご自分たちの技術を活かし、作業にあられたもので、古くなった引き戸や戸棚の修繕、水道の蛇口のパッキンやはげたタイルの補修など隅々を丸一日かけ直されました。